

広報広聴会実施報告書

開催日時	令和5年1月14日（土）午前10時00分から午前12時00分まで
開催場所	ヴェルクよこすか
出席議員	高橋英昭（司会）、土田弘之宣（誘導、第1部報告の説明及びAグループリーダー）松岡和行（受付等及びAグループファシリテーター）、大貫次郎（受付及びAグループ記録）、杉田惺（誘導及びBグループリーダー）、石山満（受付等、Bグループファシリテーター及び閉会のあいさつ）、小林伸行（受付及びBグループ記録）、井坂直（誘導及びCグループリーダー）、嘉山淳平（受付等及びCグループファシリテーター）、二見英一（受付及びCグループ記録）、竹岡力（受付等、第1部報告の説明及びDグループリーダー）、田辺昭人（受付及びDグループファシリテーター）、渡辺光一（受付及びDグループ記録） ※開会のあいさつとして、大野忠之議長出席
参加者	13名（申込14名）
実施内容	【第1部】報告 ・現在検討中の政策提言案の説明 【第2部】懇談 ・グループに分かれての意見聴取 ・グループ毎の主な意見の発表
実施結果 （主な意見）	別添

横須賀市議会議長 様

令和5年2月7日

上記のとおり報告します。

広報広聴会議委員長 高橋英昭

公共交通の在り方の政策提言に関する広報広聴会

懇談意見まとめ

グループ名	グループA
担当議員	リーダー：土田委員 ファシリテーター：松岡委員 記録：大貫委員
参加者	4名
意見	<p>提言について</p> <p>提言1</p> <p>1-1 生活路線としての利便性向上の具体的な部分分からないが、利便性の向上は人口流出の抑制につながる良い提言と思う。</p> <p>提言2</p> <p>2-1, 2-2は、今の高齢者にとっては、新技術を使いこなすことは大変だが、20年30年先を見据えたら大切な提言と思う。</p> <p>提言3</p> <p>3-2 民間企業＝富士スーパーやイオンのバスを思う。 福祉施設の車両もあるから、民間企業や福祉施設の所有するバス等にしたらどうか？</p> <p>3-3 自転車とあるが道幅が狭い所や高低差がある地域が多い中で自転車の推進は難しいのではないか。自転車を入れることに心配の意見あり</p> <p>提言の文章については、修正部分は少なく肯定的であった。</p> <p>その他、</p> <p>政策を行う上では、高齢者に対しての意見が多かったが、一人の方は高齢者だけでなく全世代を考えてほしいと意見あり。</p> <p>一次交通までの距離が遠い。</p> <p>バスが通ってればよいではだめ（利用者に優しい環境）</p> <p>バス停間の距離が短くなるようバス停を増やしてほしい。</p> <p>便利になったとしても利用料（料金）が高くなっては利用減につながる。</p> <p>コミュニティバスは、横須賀の地形上、地域によってさまざまな課題がある。一律に運営等決められない。</p> <p>公共交通が不便でネット等で注文したいが高齢者には難しい。</p> <p>相互の助け合いが必要。</p> <p>今の若い人は免許を取らない人が多い。</p> <p>福祉車両のシェアリングも必要ではないか。</p>

その他（報告への質問等）	ハマちゃんバスが運営された経緯 ハマちゃんバスが運行をやめている理由
--------------	---------------------------------------

広報広聴会議委員長 様

令和5年1月16日

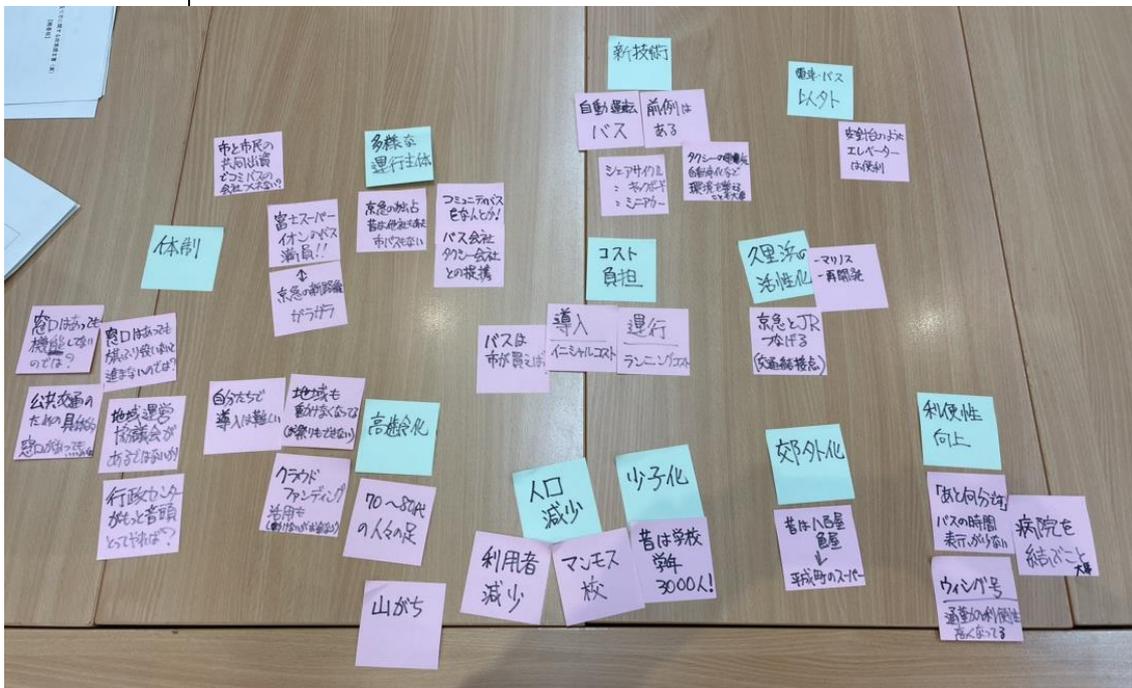
上記のとおり報告します。

記録者 大貫 次郎

公共交通の在り方の政策提言に関する広報広聴会

懇談意見まとめ

グループ名	グループB
担当議員	リーダー：杉田委員 ファシリテーター：石山委員 記録：小林委員
参加者	3名
意見	<p>項目としては、次のようなものです。詳細は下記の手書きの通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティバスについて <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や郊外化を背景としたその必要性 ・導入に際しての体制 <ul style="list-style-type: none"> -住民主導か行政主導か -住民主導の場合、町内会・自治会か、地域運営協議会か -行政主導の場合、総合的窓口か、バス専用窓口か、行政センターか ・運行主体(バス会社/タクシー会社/市/商業施設等相乗り/市民出資等) ●新たな公共交通等 <ul style="list-style-type: none"> ・シェア・サイクルのようなシェア・シニアカー ・マンションや住宅団地等からのエレベーター等 ●交通結節点強化(京急久里浜駅とJR久里浜駅の連結)
その他	特になし



広報広聴会議委員長 様

令和5年1月14日

上記のとおり報告します。

記録者 小林 伸行

公共交通の在り方の政策提言に関する広報広聴会

懇談意見まとめ

グループ名	グループC
担当議員	リーダー：井坂委員 ファシリテーター：嘉山委員 記録：二見委員
参加者	3名
意見	<p>公共交通について感じること 京急久里浜駅より先の路線が置き去りにになっていないか？ 昨年11月にダイヤ改正があった。路線のダイヤはまちづくりの根幹なのでよく考えていただきたい。</p> <p>北久里浜駅からバスに乗る。一度バスのドアが閉まると安全対策のためか再度開閉してくれないことがある。</p> <p>バス路線の減便は悪循環ではないか？ 便数を減らす→混雑する→安全確保ができない等</p> <p>谷戸地域に対する本市の取り組みは？ ハマちゃんバス等、交通の支援も取り組んでいる地域もある。</p> <p>提言について感じること 渋谷区のコミュニティバス(東急)は、好きなところで乗り降りできる。</p> <p>コミュニティバスは利便性が高い。 民間企業でやっているフジスーパーのバスやイオンバスは常に混んでいる。交通不便地等を調べる必要があるのではないか。ステップを踏んで徐々に検討していくべきと感じる。</p> <p>三笠循環バスの認知度は非常に低い。横須賀中央駅から他の駅に路線を運行したほうが良いのではないかと感じる。</p> <p>京浜急行、バスは今後車体を小さくし、シャトルバス等の運行に切り替えたほうが効率的に良いのではないかと感じる。</p> <p>京急には観光にも力を入れていただき、公共交通の要として取り組んでほしい。</p> <p>次回このような懇談会がある際には、鉄道関係者である京浜急行電鉄の関係者にも出席してほしい。</p>
その他(報告への質問等)	

広報広聴会議委員長 様

令和5年1月14日

上記のとおり報告します。

記録者 二見 英一

公共交通の在り方の政策提言に関する広報広聴会

懇談意見まとめ

グループ名	グループD
担当議員	リーダー：竹岡委員 ファシリテーター：田辺委員 記録：渡辺委員
参加者	3名
意見	<ul style="list-style-type: none">・長井地区は陸の孤島となっている。現状を考えると自分たちの意思表示も遅かったのではと感じる。・災害時の避難路や緊急輸送路の確保が必要である。・交通弱者は防災弱者でもあり、今後地域による対応も検討すべき。・地域の事情や特性（山坂の多い地域）にあった対応が求められる。・資料によると概ね公共交通網が行き届いているが、カバーされていない人々をどうするか。公共交通以外にもボランティアによる助け合いも必要ではないか。・ボランティアによる送迎なども期待される反面、ボランティアも無償は厳しいのではないか。（食事や燃料代などかかる経費もある）・各商業施設等のお買い物バスや、スクールバスなど空いている時間に運行するなど活用できると良いのではないか。・スマートモビリティやMa a Sといった新技術も、年代や環境によっては現実的ではない。地域単位で人によるカバーが必要である。・「提言」とするならば理解するが、実現にはやはり予算を伴い、その点に懸念がある。
その他（報告への質問等）	「ハマちゃんバス」の運行停止について

広報広聴会議委員長 様

令和5年1月 14日

上記のとおり報告します。

記録者 渡辺 光一